

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介


公益財団法人セゾン文化財団では、2017年度の「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェロー」の一環として、トルコ出身でベルリンを拠点に活動する振付家、ベギュム・エルジヤスをお迎えいたします。

ベギュム・エルジヤスは分子生物学や遺伝子学を学び、その後、ザルツブルグ・エクスペリメンタル・アカデミー・オブ・ダンスでダンス・振付を専攻。近年、身体やパフォーマンスに関する新しい表現形式を提示する作品で注目を集め、ベルリンの国際ダンスフェスティバル「TANZ IM AUGUST」やクンステン・フェスティバル・デザール、HAU、カイシアターなどで作品を発表しています。

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、「Handling the Invisible」と題し、新作の構想を得るために、物に意味や価値、生命を与えるコミュニティの催事や儀式のリサーチを計画しています。

ヴィジティング・フェローでの滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを発見していただくため、多くの舞台芸術関係者と交流していただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在期間 2017年10月25日(水)-12月13日(水)
*11月上旬、森下スタジオでパブリック・トークを予定。詳細は当財団のウェブサイトをご覧ください。
- 滞在场所 森下スタジオ（東京都江東区森下3-5-6）
- 滞在目的 「Handling the Invisible」
物に意味や価値、生命を与えるコミュニティの催事や儀式をリサーチし、新作の構想を得ることを目的とする。例えば、針供養等の伝統行事や、茶会、文楽についてリサーチする予定。

 平成29年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」



ベギュム・エルジヤス

プロフィール

ベギュム・エルジヤス(Begüm Erçiyas) トルコ/ベルギー

トルコのビルケント大学で分子生物学と遺伝子学を学び、その後、ザルツブルグ・エクスペリメンタル・アカデミー・オブ・ダンスでダンス・振付を専攻。

最新作、「Voicing Pieces」(2016)を、クンステン・フェスティバル・デザール(ベルギー)、Steirischer Herbst:シュタイヤーマルクの秋(オーストリア)、パクト・ツォルフライン(ドイツ)、Homo Novus フェスティバル(ラトビア)等で発表。そのほか、ベルリンの国際ダンスフェスティバル「TANZ IM AUGUST」やマルタ・フェスティバル(ポーランド)、カンパナーゲル(ドイツ)、HAU(ドイツ)、カイシアター(ベルギー)等で作品を発表した経歴を持つ。また、アカデミー・シュロス・ソリチュード、K3-タンツプラン・ハンブルグ、ヴィラ鴨川等のレジデンシーに滞在した。